

令和8年度 第5回市長タウンミーティング概要

と き：令和8年4月18日（土）
午前10時30分～正午
ところ：市民体育館
参加者：103人

○市長あいさつ

（市長より、令和8年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問(市民)

蕨市の人口に対する外国人の割合が1割を超えました。大規模災害が起きた場合の避難所開設の考え方として、通常のボランティアだけでなく、外国人とのコミュニケーションを円滑に行うための日本語ボランティアがいれば対応が速やかになるとは思いますがいかがでしょうか。

回答(市長)

外国の方が増える中、災害時の避難所等でのボランティアの協力について、ご提案をいただきまして、ありがとうございます。

蕨市には外国の方も多く住んでおり、災害時の避難所における意思疎通をできるようにしておくということは、災害対応において大事な課題だと認識しています。蕨市ではその対策として、各避難所に外国の方と簡単なやり取りができる会話セットを設置しており、まずはそれを活用して最低限の意思疎通を図ろうと考えています。更に、庁舎等において、翻訳機を多数導入して、多言語に対応できるようにしていますが、災害時にその活用も進めたいと思います。

また、ボランティアというお話がありましたが、最近では、外国の方にも町会に入ってもらい、場合によっては班長や役員をしていただいたりといった事例も増えています。外国の方が町会活動などに協力をしていただける関係が各地域にあれば、災害時の意思疎通もスムーズになるとは思います。

会話セットや翻訳機の導入、地域のボランティア、そうした重層的な取り組みを通じて、災害時には日本の方ももちろん外国の方も含めて、みんなが安心して過ごせる防災体制を整えていきたいと思っています。

質問(市民)

北町エリアには約 4000 世帯が住んでいますが、北町病院が廃止になったことで、近くにいわゆる町の病院がなくなってしまいました。北町の住民にとって、医療生活に不安を感じていますが、行政としての対応について、例えば、民間事業者の誘致や保健センター内に診療所を設置することなどは可能かお伺いしたいと思います。

回答(市長)

北町エリアからアクセスしやすい町の病院が減ってしまったため、そうした点で不便に感じている方もいらっしゃるかもしれませんが、例として挙げただいた医療機関の誘致については、基本的には民間の医療法人の判断であり、市の施策として誘致することは難しい状況です。

市としては、市立病院が西公民館の場所に移転をした際には、コミュニティバス「ぷらっとわらび」が市立病院を通るようにルートの拡充をするほか、主に塚越と南町の方に向けた取り組みではありますが、東公民館や南公民館などを発着する送迎を検討しており、市内全体のエリアが市立病院を利用しやすい環境整備に取り組んでいきたいと考えています。

質問(市民)

今説明があった 5 つの重点施策を推進していくことなど、市長を先頭に様々な取り組みを行っていただき、感謝と敬意を表したいと思います。

多文化共生とゴミ出しについてご質問します。北町に住んで 50 年になりますが、近所の様子が変わってきています。例えば、私の隣家は 3 階建てのアパートで、以前は派遣会社の寮として使われていましたが、ゴミ出しについて聞かれた時も、生活環境係を案内するなど、特に支障なく過ごしていました。しかし、最近、アパートが中国の方の所有になり、ネパールなど外国の方に貸すようになりました。ルールを守ってもらうために、英語版のゴミ出しの案内を渡して説明をしたり、ゴミ出しのルールを伝えようと努力はしていますが、入居者の入れ替わりが早いため、個人の活動では限界があります。行政としてどのような形でフォローができるのか、また、対応してもらう窓口はどこか教えてください。

回答(市長)

ゴミの問題について、町会や地域の皆さんが日常的に対応をしていただいていますことに、改めて感謝申し上げたいと思います。

ゴミの出し方は、言語や文化の違いもあり、外国の方に初めから理解していた

だくのは難しいため、市ではゴミの出し方や分別についてのパンフレットを多言語で用意し、外国人生活ガイドブックとともに転入者にお渡ししています。

また、市内にゴミの集積所は3000箇所程度あり、全てに設置することは難しいですが、主に問い合わせがあった集積所に関して、多言語版のゴミの出し方をラミネート加工して貼るということも実施しています。更に、今年度はクリーンステーション、リサイクルステーションの計200か所に、多言語版の看板を掲示していくような取り組みも進めていきます。

そのほか、今年度から庁舎1階の多目的スペースを使って、転入等の手続きを待っている間に、日本での生活のマナーやルールを説明する動画を見てもらったり、生活オリエンテーションという、毎月1回市役所で日本での基本的な生活習慣を教える取り組みも始めました。

なお、ごみの集積所などのご相談については安全安心課の生活環境係が担当となります。ご連絡いただければ、市の職員も現場を確認して対応いたしますのでご相談いただければと思います。

質問(市民)

折り畳み式のごみボックスについて、多く見かけるようになりましたがまだまだ十分ではないため、引き続き数を増やしてほしいです。また、場所によっては風で倒れてしまうという問題もあり、完璧なものではありません。設置場所についても、地域によっては見つからないため、何かいい方法はないでしょうか。

都内ではごみの有料化について検討が進んでいますが、近県として埼玉県も追従するのではないかと心配しています。蕨市での検討状況を教えていただきたいです。

回答(市長)

ゴミの問題について、町会や地域の皆さんが日頃から対応をいただいていますことに、改めて感謝申し上げたいと思います。

昔はカラス対策としてネットを用いていましたが、数年の試行期間を経て、蓋つきの折り畳み式もやすごみ回収ボックスを導入しました。カラス対策に効果的ですが、お話のとおり、場所によっては使えないということもありますので、町会に適切な設置箇所や個数について確認を取りながら、この間、段階的に設置を進めています。個別の事案などありましたら、担当課の職員が現地に伺い、一緒に考えさせていただきますので、ご相談いただければと思います。

次にゴミの有料化について、東京都の事情として、将来、埋立地がいつぱいになってしまうということで、ごみの減量化の目的で検討されていると認識して

います。有料化については、導入している自治体の事例では、最初は減量化に一定の効果がありますが、時間が経つと元に戻ってしまったり、ごみを出す側がお金を払っているのだからと、マナーの徹底が難しくなるといった側面があると聞いています。蕨市と戸田市、衛生センターで作成しているごみ処理基本計画という15年計画のなかでは研究課題として記載はしていますが、蕨市では、現在有料化の予定はありません。ゴミの減量化の取り組みについては、重要でありますので、引き続き皆様のご協力をいただければと思います

質問(市民)

町会に依頼されている募金について、本来は任意なものだと思いますが、町会費に含まれた形で徴収されています。町会の方からは、事務負担軽減のためと言われましたが、強制的に集金することは問題だと思います。募金に協力しないと町会補助金に影響があるかもしれないとも聞きましたが、事実か教えてください。町会に対し募金は任意であることを徹底していただきたいです。

また、蕨市では外国人人口が14%に達しましたが、受入れの総量規制は考えていますか。

回答(市長)

募金の集金方法については、各町会で判断いただいております。予算の中でやりくりしているところもあるとは聞いています。また、募金に協力しなかったからといって、市の補助金が減ってしまうということはありません。今回のご意見については、募金を行っている社会福祉協議会など関係機関に伝えたいと思います。

多文化共生についてのご質問ですが、技能実習制度等の国の施策によって日本全体で外国の方が増えており、その上で居住地の自由があり、自治体ではご意見のような制限はできませんので、東京23区や県南部など便利なところに多く居住する傾向にあります。比率を見ると蕨は比較的高くなっていますが、蕨はまちの中心部しかないような市で、他の市でも中心部だけを見れば同じような比率になっているところはあると思います。市の権限に基づく施策としては、住んでいる皆さんが気持ちよく安全安心に暮らせる環境を整えるということになりますので、引き続き市長として皆様のご協力をいただきながら取り組んでいきたいと思っています。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。